

第七十一日目

師 範：大戦に参戦していたロシアでは，貧しい民衆出身の兵士たちに不満が表れました。「だれのための戦争なのか。どうして死ななければならないのか」という気持ちでした。また女性や老人たちも食べ物に困っていました。



農民たちは土地のない小作人が圧倒的に多く，働いても収穫物の大半が地主や領主に取り上げられていく生活でした。

それらの不満が満ちてきたのを社会主義革命に導いたのがレーニンでした。

「土地とパンと平和を」をスローガンに，皇帝政治を倒し，いっきょに社会主義政府をつくり上げようとしました。

1917年 ロシア革命がおこる。

この年を覚えましょう。

コン太：では



「ロシア革命得意な顔のレーニン」

「革命に ロシアのレーニン 得意な顔」

「とく」は19，「いな」は17です。

師 範：うまくできました。

スースー

